

都市再生整備計画 事後評価シート  
玉野市中心市街地活性化地区

平成29年3月

岡山県玉野市

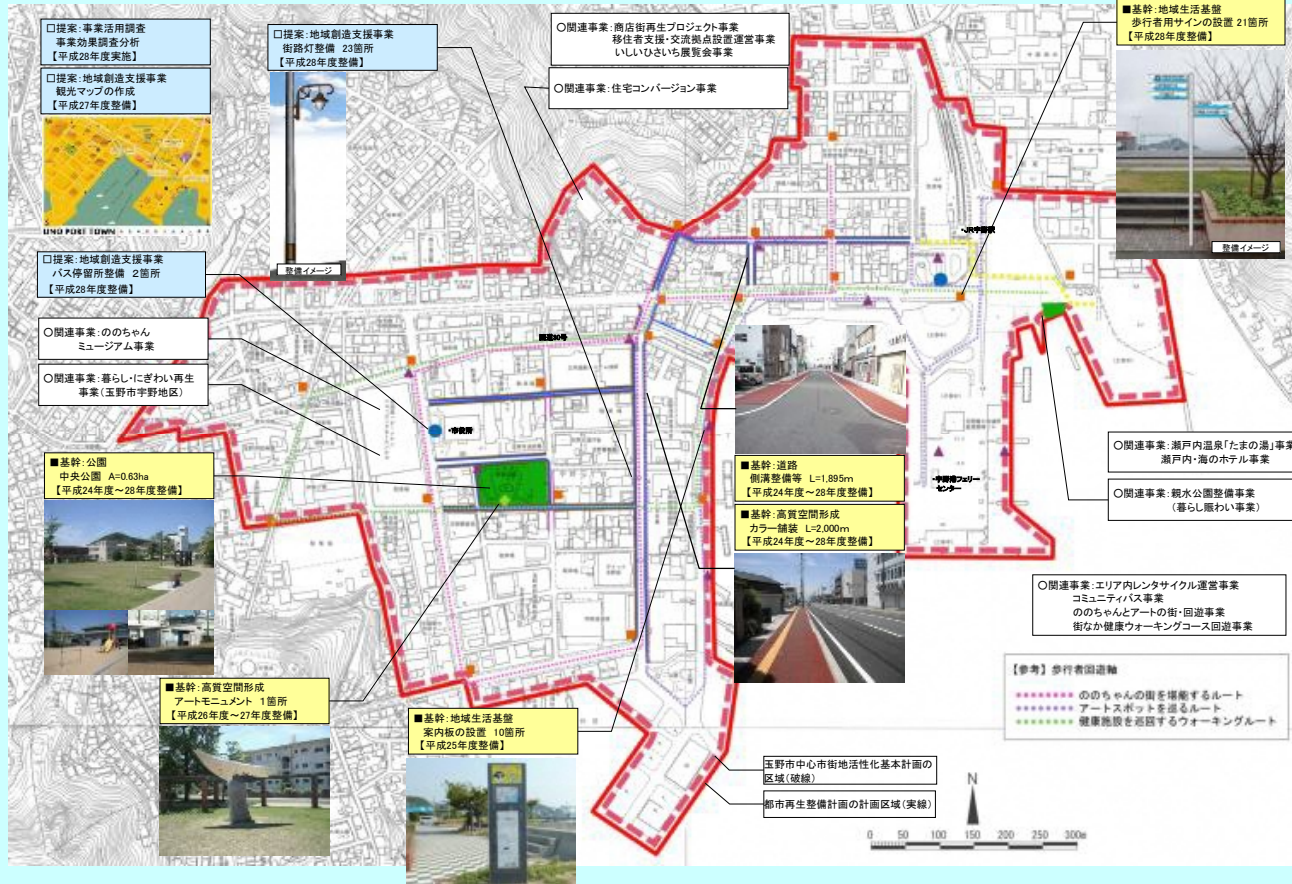
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岡山県		市町村名	玉野市		地区名	玉野市中心市街地活性化地区			面積	70.0ha		
交付期間	平成24年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	430百万円	国費率	0.45				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園(中央公園魅力化整備事業)、地域生活基盤施設(4コマ漫画案内板設置事業、歩行者サイン設置事業)、高質空間形成施設(カラー舗装等事業、アートモニュメント設置事業)										
		提案事業	地域創造支援事業(街路灯整備事業、回遊マップ作成事業、コミュニティバス停留所整備事業)、事業活用調査(事業効果分析調査事業)										
	当初計画から削除した事業	事業名					削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
新たに追加した事業		基幹事業	道路(側溝整備等)			当初、高質空間形成施設(カラー舗装)と同一事業としていたが、事業の内容を精査した結果、一部が当該事業に分類されたため。			なし				
提案事業	なし												
交付期間の変更	当初	平成24年度～平成28年度			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
	変更	なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	居住環境への満足度		3.4	H23	3.5	H28	3.4	△	あり なし	● -	-	
	指標2	中心市街地としての魅力度		2.4	H23	2.9	H28	2.5	×	あり なし	● -	-	
指標3	歩行者・自転車通行量	人/日	1,137人(平日) 1,122人(休日)	H23	1,150人(平日) 1,150人(休日)	H28	1,249人(平日) 1,119人(休日)	○	あり なし	● -	-		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1												
その他の数値指標2													
4)定性的な効果発現状況	中央公園や街路灯の整備により、災害時の避難場所や避難路の機能が高まり、地域住民の安心感の向上に繋がった。協議会により市民活動が促進され、地域内のコミュニティが向上した。瀬戸内国際芸術祭の開催(作品の展示)により、街としての魅力が向上した。												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	「まちづくり協議会」の実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	持続的なまちづくり体制の構築	「まちづくり協議会」			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

## 様式2-2 地区の概要

### 玉野市中心市街地活性化地区(岡山県玉野市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
玉野市を象徴するシンボルゾーンの形成による来街者の回遊性の向上とあわせて、定住環境の向上を図り、安全で安心して活動できる中心市街地の賑わいの創造を行う。 目標1: 来街者が魅力を感じられるまちを形成する 目標2: 歩いて楽しい、暮らしやすいまちを形成する 目標3: 安全で安心なまちを形成する	居住環境への満足度	単位: 3.4 H23	3.5 H28	3.4 H28
	中心市街地としての魅力度	単位: 2.4 H23	2.9 H28	2.5 H28
	歩行者・自転車通行量	単位: 人/日	1,137人(平日) 1,122人(休日) H23	1,150人(平日) 1,150人(休日) H28



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>カラー舗装や側溝整備等により歩きやすい歩行者空間となったことで、地域住民及び観光客等の区域内での回遊性の向上が図られた。</li> <li>中央公園等の交流拠点の整備により賑わいが創出されるとともに、来訪者に対する案内サインを整備することで、各施設や拠点等への利便性が向上された。</li> <li>まちづくり協議会を年数回実施したことで、地区住民のまちづくりに対する意識の向上や地域活動の活性化が図られた。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光入り込み客数の増加と満足度の向上 ボランティアガイドの充実等きめ細かな観光客への対応を地区住民と協働で行うことにより、さらに魅力的な地域づくりを目指す。 市のホームページや観光マップ等を通じて本地区の魅力を発信し、観光客の増加に繋げる。また、定住促進にも力を入れ住みやすい環境づくりを目指す。 防災に関連する取組みなども視野に入れ、安全・安心なまちづくりを行っていく。</li> <li>市民活動の支援 今後もさまざまな形で市民活動を支援し、市民と協働のまちづくりを進める。</li> </ul>